





日波

古原細見く成松乃板切
例年凸凹のお遠甲しし水
老く相改りしにありに
追日所求より大其之結
少なるしとみたりなり
券の趣向妙なる松老
松の作より格みと身元の
そとへかへし慰めする
通家よりとむるはる
清酒の興をいれし

寛保

二八五

○ 東の方

太夫 小むら

かし 梅うえ

あま路

あま路

あま路

あま路

あま路

あま路

あま路

あま路

あま路

あま路

あま路

玉登山三郎四

三浦孫三郎四

三浦孫三郎四

三浦孫三郎四

三浦孫三郎四

三浦孫三郎四

三浦孫三郎四

三浦孫三郎四

同 四

玉登山三郎四

三浦孫三郎四

三浦孫三郎四

三浦孫三郎四



東方小史

畫上西村里長圖



あきふゆ



あきふゆ

乃月

太花系

玉座山之部也

。 西方

たま

うと雲

三浦宮之部也

花多

三浦源之部也

さよの花

玉座山之部也

かえり菊

三浦源之部也

たち花

玉座山之部也

うきき

三浦源之部也

うもひち

玉座山之部也

小きき

三浦源之部也

えん梅

玉座山之部也

あつまら

三浦源之部也

みき花

三浦源之部也

トウライ

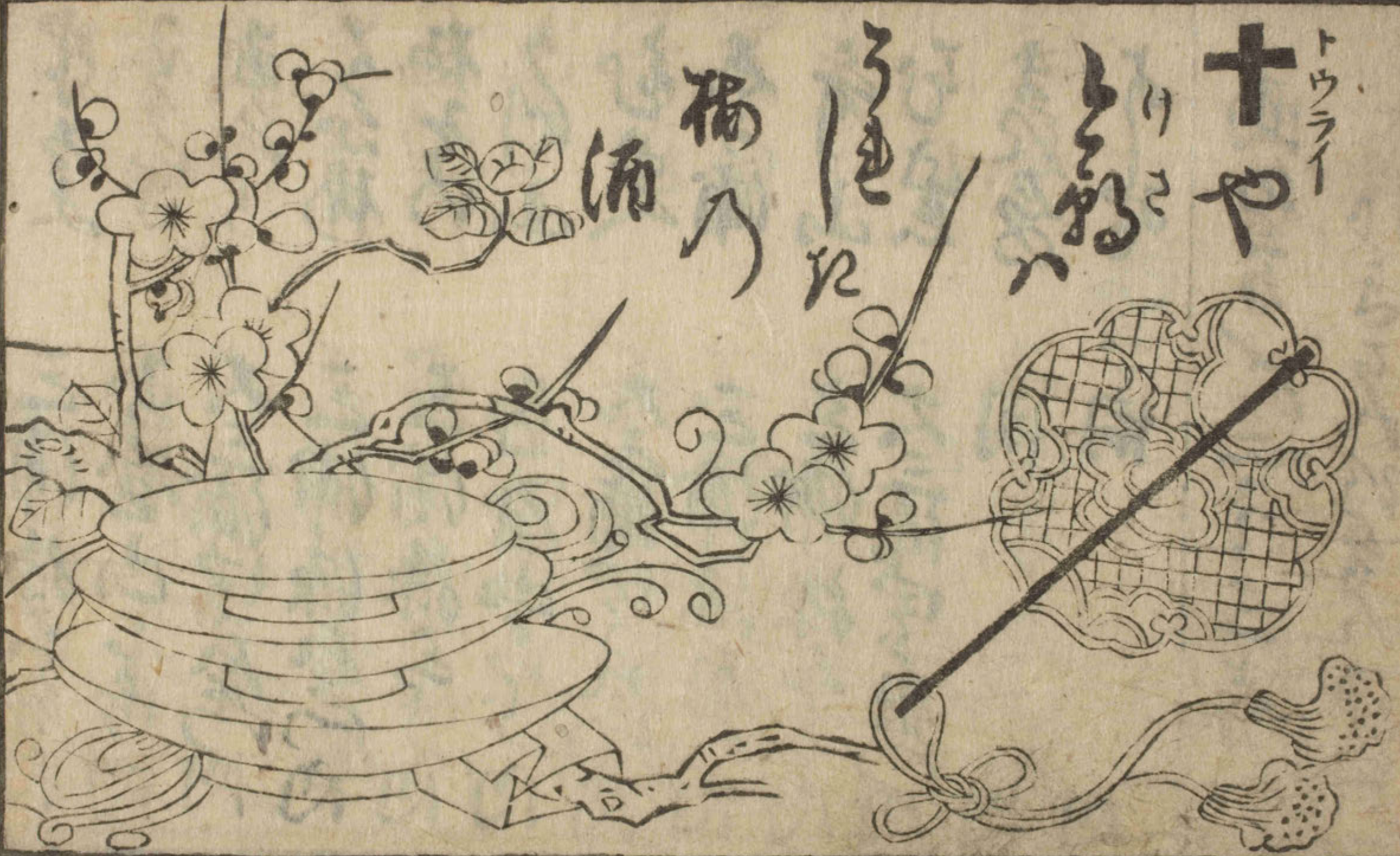
十や

トリ
ハ

う
に

福

酒



穀の合せやうに焼

たえべさんさとしてあび二斗半時
むうまろまとしてあび二斗半時合
すう時二斗と四斗のあびにてあま
れ穀に合なるあまろまの方うちく
さんまあけて他のむべー
又さんさとしてあび二斗出を時内分
ろまとしてあび二斗出せろまにを
さんるにも合ぬあひうちまのひは
又すうとしてあび二斗出の時さんさ
として二斗出を時ハまろまの方うち
又さうとしてあび二斗出の時さう
らひとしてむうまも又二斗出せさう
らの方うちあり大うこれまて
とうくあやうがあまを二斗のうらま
合にかうけられん合なるがら
えおれたういよむうのまきさの
らんまのまきさとしてまろまとあり
たさうとありたうけべー
それハあひくの時さうんあへ
右へくらひもあふれーるうそ
あさしあさうあ今うらにさ
へしあをまきあひー

A line drawing of a hand holding a small object, possibly a piece of jewelry or a small animal, with a long, curved line extending from the wrist. The drawing is simple and stylized, with a focus on the hand and the object it holds. The background is a textured, light brown color.

○アキのづ

A line drawing of a hand holding a small object, possibly a bird or a piece of wood, with a vertical line extending upwards from the wrist. The drawing is simple and appears to be a sketch or a woodcut illustration. The hand is shown from the side, with the fingers curled around the object. The object has a small, rounded head and a long, thin tail. The vertical line extending from the wrist is straight and ends in a small hook-like shape. The background is a light, textured surface, possibly paper or parchment.

○すゝめづ

A woodblock print illustration of a hand holding a small object, possibly a pipe or a small vessel, with a decorative cuff or band around the wrist. The hand is shown in profile, with fingers curled around the object. The wrist is adorned with a wide, ornate band. The style is characteristic of traditional East Asian book illustrations.

全

心

樂

五

翠

あそ

2

あ

方

ろま
しやま
えま

九文
十

○もまばーんううまや
うけくるうもあれごまま
たにとまろづー

○やうり 舟やぐの歌

山まろや侍あり	ひのやすう
えんまや侍あり	まろぶやゆあり
はしるや義あり	よろつや七あり
おろりや仁あり	たつるや次あり
おろるやおろ	ならるや勤あり
えりやゆあり	いせうややうあり
みまじや平あり	あづまやたけあり
まじりや若あり	あうや森あり
うし由や七あり	うのや侍あり
のりるや侍あり	あろごや次あり
長きや市あり	あきのや八あり
あがりやうあり	かひや侍あり
あまごや床あり	ころ松や伏あり
市うや平八	あめくやぼろあり
あまあや七あり	たけや小平あり
大はや勤あり	えうやこまあり
かめや侍あり	あそひやふあり
ひしや九あり	あめくや八あり

このや侍らふ

こゝろや侍七

まゝやおす云来

い戸や座あり

ゆゑや係らふ

いゝや侍あり

あゝや云云来

なせうや云云来

あゝのや云云来

うゝ川や云云来

い松や佐あり

うゝや侍云来

まゝや云云来

あゝや云云来

大乃や云云来

中むゝや十云来

いげや云云来

こゝろや係云来

みゝや云云来

うゝや侍云来

ますや云云来

うゝや座七

山志や八云来

うゝや云云来

ちとくや侍あり

まゝや云云七

さゝのや云云来

あゝたや云云来

こゝろや七云来

たゝや係六

まゝのや侍あり

むゝや云云来

あゝや又八

うゝや云云七

たまや云云来

あゝたや云云来

うゝや云云来

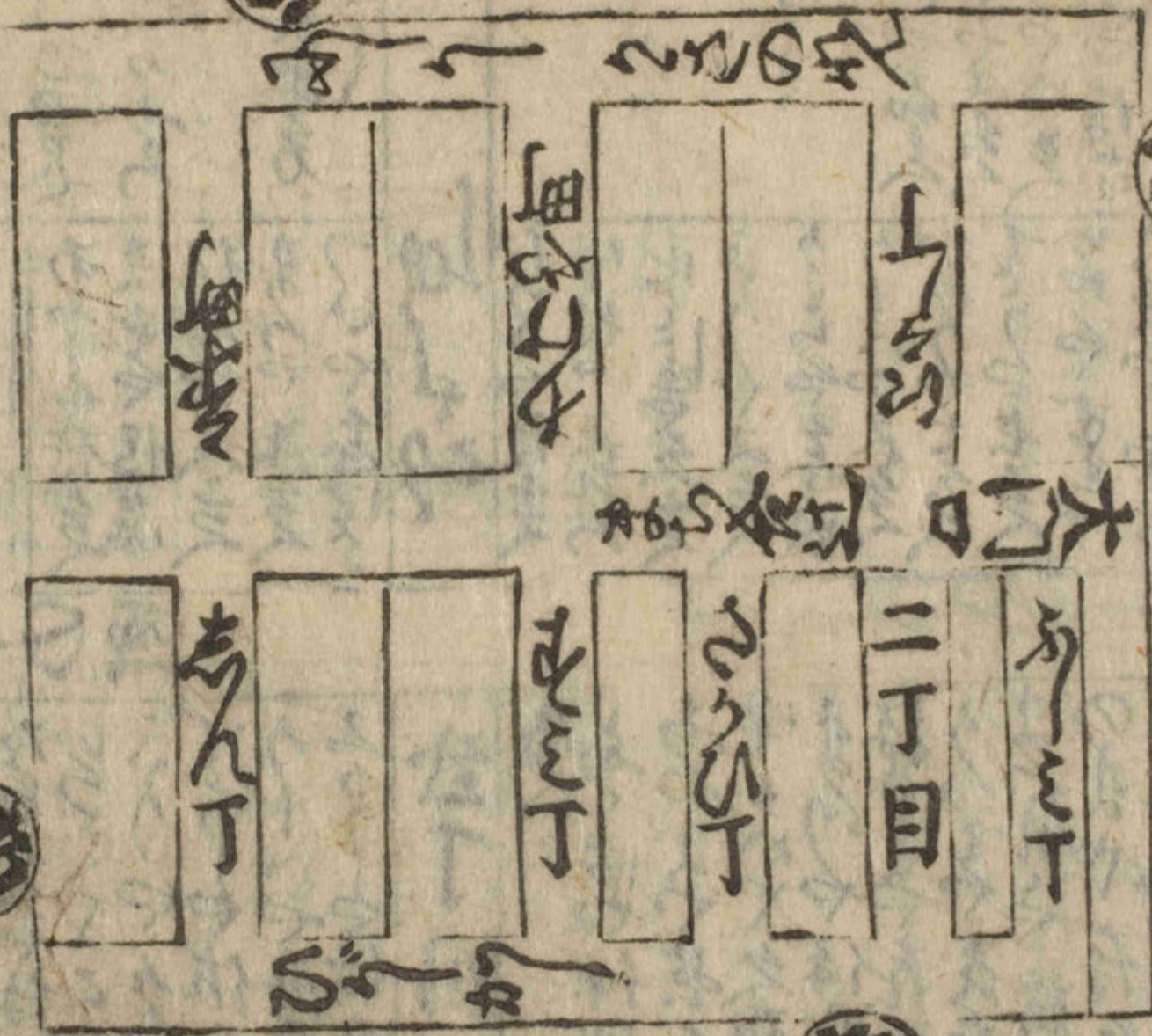
あゝたや云云来

又町方角東西南北之圖

北

北東

東



北

北東

東

北

北東

東

北

東

北

東

北

東



今所

足部業

よ代 足支

より目付

又所の男女

女部より

人別

より足支方

北

世

大

大

より男や女支
より女や男支
より男や女支

より目付

より男や女支

より女や男支

より男や女支

より女や男支

より目付

より男や女支

より女や男支

より男や女支

より女や男支

より男や女支

より女や男支

より男や女支

より女や男支

より目付

より男や女支

けう

より男や女支

より女や男支

より男や女支

より女や男支

より男や女支

より女や男支

江戸町より丁目仲丁分たるを



佐勢左衛門右衛門

△日号梅
△まのふ

△そめさく
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

△まろ名
△らんち

△みさね
△さく

△わやめ
△さく

△さく
△さく

△ひめりえ
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく



△いねん
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

△小
△さく

△あさ
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく



松葉屋中右衛門

△そめ
△さく

△そめ
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

△まろ
△さく

△今川
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

△わろ
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

△そめ山
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

△さく
△さく

西田屋

西田屋又なる

△女郎たへやまきあむうと

△花をぬ

△ごし山

うひち

△山あり

△まきえ

りとも

いの

△とんね

△あのお

あんよ

やう

茶や

西田屋にる

ゆき

いこうこいあり

やうさうめん

うどんや

きうく又た

あひまや森玄

西田屋を丁目つり丁ふた

橋子



玉座山に

なま

やう

六十

うめ花をふりぬい

あひ

さうり

ちり

山

万字全与云清

...

汪



乃
あ
お
お

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

五

やうて



大上様を流る

△あけまた

△またき

△あけまたへうつま まうひ

△また山

△また山

△あけまたへうつま まうひ

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた



天はるにた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた

△あけまた



巴在源在事

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ

△その山

△山

△山

△山

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ

倭

巴在源在事

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ



巴在源在事

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ

△そのち

△ちえ

△ちえ

△ちえ

△さちま△小ちま△あやめ あひら

あさう

△かうま△きまう

こさん

うん

あつまら
そでー

かき
せん

商人

△たりう登教十郎



万字屋又た徳門

△甘んさん

あきま

△ちんちう△花ひさるへきんえん

せんり

うん

あきし

△あけぬ△白あま

あきま

あきま

きよあ

△ちんち

あきま

△あけぬ△アんえん

ちんち

アんえ

あきま

△きんち

あきま

△あけぬ△あきま

あきま

あきま

あきま



海老屋又た清

△ちんち△あきま

あきま

あきま

あきま

△あきま

あきま

△あきま△あきま

あきま

あきま

あきま

△あきま

あきま

△あきま△あきま

あきま

あきま

あきま

△あきま

あきま

△あきま△あきま

あきま

あきま

あきま

△あきま

あきま

△あきま△あきま

あきま

あきま

あきま

日 日
 △ いせや十云集
 △ 上あや七
 事や きたる

武町目 中ノ丁 右ノ目



さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ



さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ
 さんちう ちとせ へろい
 さんちう そめれお へわあ



はるきやうな

△あうそ

△あこのと

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

長屋金平云

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

△あうそ

△あうそ

あうそ ころろ

[illegible]

商人 ひのき板家

大倉

大田金とたたら

はまら

あめのめ

ここん

あつた

わらわ

おとえ

あめのめ

あつた

あめのめ

あつた

あめのめ

あつた

あめのめ

あつた

尾張屋

おろり屋

あめのめ

あつた

あめのめ

あつた

あめのめ

あつた

あめのめ

あつた

あめのめ

あつた

あめのめ

あつた



大松登市云

か
よ
ひ
ち

三
ね
ま
き

小石

ひひえ

乃

ね
あ

あつち

乙の

五ノ風

卷之九

小志るぶ

松久

なり

子
 子

商人

△ 此のふ登をあら

第百三

名

せうせう

年五

わ
よ
さ
う

漢書

あけ

のち

やう
あり

武町目内丁六丸り二

商人

△ 每々金満云々

明
手

江戸屋

江戸屋平太夫

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

小太夫

小太夫

小太夫

小太夫

目撃

目撃

目撃

目撃

大太夫屋平太夫



セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン



セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

セシズン

合うわきく 八みあど くれあつたまを

合つまう へうあわ ころうう 小あま

万さ ころあ ころうう ころうあ

桐屋

桐屋をう

花月 ころあ ころあ ころあ

合ころあ 小あま ころあ ころあ

合あふさ ころあ ころあ ころあ

合あふさ ころあ ころあ ころあ

商人 △ころあ ころあ ころあ

たま 玉屋をう ころあ ころあ

合あふさ ころあ ころあ ころあ

合あふさ ころあ ころあ ころあ

合あふさ ころあ ころあ ころあ

合あふさ ころあ ころあ ころあ

善哉

わつあなをへた

△つらひく

△そつひをへつあなをへた
うらや
いもち
さな

△さき

△さき
まき
さき
すの

△いづき

△そつひをへつあなをへた
いづき
いづき
いづき

△小なま

△小なま
いづき
いづき
いづき

△さき

△さき
いづき
いづき
いづき

△さき

△さき

△加う

△さき
いづき
いづき
いづき

△ちき

△ちき
いづき
いづき
いづき

△あう

△あう
いづき
いづき
いづき

△大田

△大田

△大田

△大田
いづき
いづき
いづき

うんぬん

うんぬん

うんぬん

うんぬん

うんぬん

うんぬん



山の井

山の井

山の井

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

商人

△井の字や借る

同

△キノコや借る



巴豆法云清

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

いぬ

山口全助大進

[illegible]

大ひし屋おとよ

[illegible]

卍

万字を十部

△あふは

△あふは

あふは

あふは

△あふは

△あふは

△あふは

あふは

△あふは

△あふは

あふは

△あふは

△あふは

あふは

商人

△あふは

うゝ柔や

まんーや

日月

あふは

商人

△あふは

加賀屋

加賀屋

△あふは

△あふは

あふは

△あふは

△あふは

あふは

△あふは

△あふは

あふは

△あふは

△あふは

あふは

泉

△きりてう

ひさち

△きよきん

てぢぢ

△うらうら

うり

△そのむあ

もろら

△せうき

うんち

△あきん

おとら

あや

あう 花月

よーの 花月

きくめ 花月

うんち 花月

うんち 花月

うんち 花月

水

あらを

△ひーを 平太

うー 桑や

ひーのや 三太郎

平太を 夫太郎

平

△きせ川

うんち

△あまら

はな

あまら 花月

うんち 花月

うんち 花月

△ふすま△
△田むら△市
みわの
くろき

うぎんを
あふぎやそ

海老屋傳四郎



△ふとわ
△けうさん
ちうき
りくよ

△あろう
△かうと
ほま

△まの
△れろ
そめ木

△柳木
△あひさん
いさき

△うさ
△あひ
きよう
ちて

商人
△うりて屋傳を清

ちり屋
大志屋八云清

ううこ
九重をいんを

うろこ屋次を

大はろ屋を

大塚

△さ
あふよそ

△うさん
あふちりおのえ

又
乙
丙
丁
戊
己
庚
辛
壬
癸

必
ふさへ
まゐる
ちとせ
きりて

すゑ町中ノ下なるなり

いせや和云来

一字の底を三處



分苑

卷之四

とよみん

三

東坡先生集

三

三

山

玉琴

知か

今方

五

三

いちぢ



い

220

三

天

せう

三

八
と
の
り

子波

おのそ

三

おのえ

のふ

七

一

ゆき

ひう〜ニ葉をあり

ゆき

商人

同



ゆき

ゆき

ゆき

ゆき

△大あくを安云味
△井じらやきみ
はるをえはる

ゆき へいまこと せいざん

ゆき せいざん せいざん

ゆき せいざん せいざん

ゆき せいざん せいざん

一カ字の金動を傍

クまに こけり くらま

あけい くらま くらま

くらま くらま くらま



ゆき

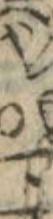
[illegible]

あつま

天
 有
 之
 年
 ありて

商人
△ 印 至長以所

同業稅


 張居正
 子正

八
 の
 け
 る

々々
あに
とる本

橋本

今日の日
わつと まさよ

みと
ま

[illegible]

そとに
あらず
たつた
やうて

いふ

商人

△あひ屋次を来

きー屋

きく屋又なる

キのや

いさ屋やほ云来

うー

うーい 石川こーうあ

商人

いせ屋席をの

同

いせ屋す七

伊勢屋

伊勢屋を云来

へりるま

へわうな

えん

きんや

へんみ家

きよや

へ小まふ

わさうま

なけき

えんち

まき

きん

へわうけ

まのけ

わん

あは屋を云来

あ

あ

あ

あ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

へ

東町を丁目中より右を

捲子 三浦伊勢

△ちまのなや ゆり ちま

太 うちすま まれお ちまの

精 山ち あまの ちまの

子 まうま 見えん ちまの

まうま 見えん ちまの

そのま ちまの ちまの

ちんち ちんち ちんち

侍方屋 山 侍方屋 侍方屋

のう せう ちまの

かろ ちまの ちまの

ちまの ちまの ちまの

ちまの ちまの ちまの

賀賀屋

加賀屋

いすゝん

ひめえん小

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

錢屋

せふ屋

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

俵

あつ屋

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん

いすゝん



つまきくら ちりみ

大

ふ

ハケのぬき

422

とよみ

山勢

毛

雪

り
ふ

和

三

貴

今之來

三

三むめ

音

おろろ金三郎

張居正序



小學

人

七

八
ろ
む
め

てんち

今さら

りて

金樓

ま

とぞ
し
ら

三

...

今有

卷之八

八木村

也

卷之六

商人

△ 志の屋

同

△ ちとる ちとる

キの座

德



山に登る

人々

そでゝある

△さくら	△さくら	△さくら	△さくら	△さくら
さくら	さくら	さくら	さくら	さくら
さくら	さくら	さくら	さくら	さくら
さくら	さくら	さくら	さくら	さくら
さくら	さくら	さくら	さくら	さくら



豊田金利堂

△さくら	△さくら	△さくら	△さくら	△さくら
さくら	さくら	さくら	さくら	さくら
さくら	さくら	さくら	さくら	さくら
さくら	さくら	さくら	さくら	さくら
さくら	さくら	さくら	さくら	さくら

商人 △山田金市

同 △ふねくら

同 △しんや

ゆき

東町

格子



三浦孫三郎

△やうー 六十九

梅うえ

えんま

すんま

うい

こま

さんち

ひの

あを

うん

た

年

り

梅

やう

こ

やう

あ

わ

う

か

ま

か

こ

ま

い

格子

三浦

み

う

う

う

う

△やうー

あ

う

あ

あ

あ

あ

や

あ

あ

う

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

へん へん へん
 へん へん へん
 へん へん へん
 へん へん へん

拍

へん へん へん
 へん へん へん
 へん へん へん
 へん へん へん



へん へん へん
 へん へん へん
 へん へん へん
 へん へん へん

商人

同

三川屋利三
 三川屋利三

和泉屋

和泉屋
 和泉屋

へあしむ あしむ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ

桐屋

へみさ みさ へみさ みさ へみさ みさ へみさ みさ
 へみさ みさ へみさ みさ へみさ みさ へみさ みさ
 へみさ みさ へみさ みさ へみさ みさ へみさ みさ
 へみさ みさ へみさ みさ へみさ みさ へみさ みさ



桐屋甚だ

へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ

加賀屋

加賀屋七

へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ
 へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ へあふさ あふさ

へさよあらへさよた ひえの

あふふへあむの こひえ

へすたもよへてのり のり のり

伊勢屋

へまろせ せんよ

へいせちろ よせち まろえ

あふふ こまよさ やえさき

へいちむろ 山乃ぬ こまよう ちん

いーいー ーいあり 大徳部

まやぐみえ

こまこやま

北木屋をひき

鈴木屋

へあふぬ あらち まろぬ

へさふぬ まろむ まろ

まろ まろ

へうさく まろ やり

あふふ まろ

山に金七

山屋

へ山乃井へみえ

△かーハ本△玉う

ちとひりり

△あさ△かろ

わさ

△かひち△ち

あふ

△たけ△み

中へ

うん

商人

△りり△八

豊作は

商人

△かぎ△利△

同

△く△

同

△た△

商人

きう

糸町二丁目中子

佐波屋



△た△

△ち△

△り△

△ん△

△あ△

△の△

△あ△

今
子
子
子

合
馬
初

馬名



阿彌陀

八十

子親

花と

斧山

人妻

山

三子州

△
久
山

へんげんげん

五
五

三

へ
あ
ま
ら

2

せうく

八
ま
ろ
ろ
ろ

山
あ
と
り

八

如

八
中
中
中
中

子

ひめ

ふも
のせ

ふちをえ

27

卷之四

中

みくら

五

中

人

桐菱屋平十郎

人おとろち

23

觀之

子

かまの

楚

考

丸

海軍大臣

石之氣

日
紫

卷之五

中

大興隆

大黑屋

五

そつせ

卷二

る

見

考

人曰

三

春生のやうに

キのや

まゝや部



大田屋云々

△ていり

△うり

△ていり

△ていり

△かき

△わき

△わき

△わき

△かき

△わき

△わき

△わき

△かき

△わき

△わき

△わき

△かき

△わき

△わき

△わき

△かき

△わき

△わき

△わき

△かき

△わき

△わき

△わき

△かき

△わき

△わき

△わき

△かき

△わき

△わき

△わき



九郎次 稻荷大明神

糸町三丁目中ノ丁が丸

△かき

△わき

△わき

△わき

某屋

△かき

山城屋

山崎の巻九を流

おきま
さきま
さきま
さきま
さきま

あけ
あけ
あけ
あけ
あけ

きき
きき
きき
きき
きき



巴印屋

あき
あき
あき
あき
あき

あき
あき
あき
あき
あき

あき
あき
あき
あき
あき



長崎屋

あき
あき
あき
あき
あき

あき
あき
あき
あき
あき

あき
あき
あき
あき
あき

[illegible]

商人

△ 卷八 金瓶梅

[illegible]

凡之入

卷之七

商人

△
ふみ登るふみ

同

△
あひなみそ

三德世人

卷之四

ありて

いせ登るる衆

同

江平登清元集

吾系細見
改より所

家園
之樂

あゝ新の戸を清く洗
うるや

うゝものやびとちん
田中ぞうせろ

伏見町之江中

榮

多いや彩雲来

同

ひやうとや作

同

法之也仁之求

同

一也やあら

二

いりのやとみ七

同

三つりやむら

中田屋

中田全助

あふ
あふ
あふ

今山

くすくす
さん
やう

へんしやう

まの
まの村

ひさしに

三浦屋

三浦登志守

玉の歩をふり

主人記

まろを　　うのこ

三ノ河

花おろ
る

商人

五ノミヤノミヤ

系

すゝめや嘉七

茶屋

日

のむやそと

さうい

大和屋傳次郎

大和屋

ううま
おまき
ううま
せいざん
ううね
あまこち
あまぢ
ううま
ううま

くら

金に金動七

何きや

くら

てうざん
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま



くら

あまき
さうま
あまき
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま

あまき

あまき
さうま
あまき
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま



くら

あまき
さうま
あまき
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま

俵屋

あまき
さうま
あまき
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま
さうま

張 為川卷五すつちの之教

四

うー情
こくこ
わふちう

天まやちふなり
あふふた
まろちを

四

くま月
やまのち
つろふよ
ふんふん

かきまや依なり
いりて
まろちを

四

せふこ
こふふふ
こふふふ
こふふふ

さふのやあふち
ふろふ
なふち

四

まろちえ
かふふふ
つろふよ
ふんふん

ひのやちふふ
さふの
まろちを

四

あふふふ
あふふふ
あふふふ
あふふふ

あふふふ
あふふふ
あふふふ
あふふふ

四

あふふふ
あふふふ
あふふふ
あふふふ

あふふふ
あふふふ
あふふふ
あふふふ

これよりわの屋田川

四

てんはやちん

ちんち

うーち

とこ山

まんよ

つまち

あひめ

四

あふふたふ

ちんち

まろせ

くもの

そめさ

おぎ

金たま

四

あまやの

うの

うの

あふ

万たま

そあ山

あまの

そあさ

あひめ

さんち

四

いつこあふ

ちんち

ちんち

こよ

ちんち

ちんち

ちんち

ちんち

あふ

ちんち

ちんち

あふ

みづへし 里

四

四

四

四

四

ちうう
まうう
ちうう
くめき

いせを
あやめ
せんよ
いらち
やんき

松のこやちち

きく海
花ざん
まうう
きくう

さよ花
やまぢ
くういと
うくう

ちめとやにさ

つまお
さんさん
くさん
いまよ

まうう
くうよ
まその
万たま

ツル田豆のしら

たまを

へう海
へうの
へうの
やまぢ

やま
さよ
いらち
うくう
うくう

梅そのやち

そく
ちうの
くう
くう

くく
ひめ
まう
くく
ひく

是がつねの類 いづもやかゝる

あやふし

つ

うきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき

つ

まんま
まんま
まんま
まんま
まんま

きりぎりす

つ

うきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき

あやふし

つ

うきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき

是が赤田りの分 いはやあは

つ

うきうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき

知母

つ

金ちま
いせえ
ふぢに

あぐあ

はめふや七たつ

つ

そあふ
そむあ

そあう

わうふやあそあ

つ

こがと
まふよ

ろわめ
せうと

まふやああ

つ

おのろ
おのろ
おのろ

おのろ
おのろ
おのろ

おのろ
おのろ
おのろ

ろろやあ八

つ

いふふ
くもぬ

いふふ
いふふ

いふふあああ

つ

いふの
つふふ

まふて
わふな

いふくやああ

是より ちん丁く しののけ

つ

いせの
やま
こもぢ

わがま
ひめうえ
ままたま

きま
のうぜ

こつろや 将十

つ

ろせ
ちとせ

こま
うめま

こまや ちき

つ

そめ山
ころか
せうせん

そめ山
せいのめ
まろくえ

うめや 将十

つ

ろや
そす命
大さ

そす
そす
大さ

うめや 将十

つ

あへ
かむめ

うめ
つしま
あむ

うめや 将十

つ

ろ井
ろろ

ろろ
玉乃

いせの

是を武丁曰ふや

東川登仙記

七ノ

桑登

五家の金銀を以て

中ノ下

ひきこめかん

多心金元玄集

卷之四

卷之五

榮全

大田登衣云染

山崎の書

五七

修之卷之十初

くちやふふ

如子也
後家

卷之八

五ノヤ

以之在修為

あはれ

みづとや久と
かゝるをたふ
るく屋新た
いゝや 三法
とや 作方
ある是と不沙お政やい也

○月次 壬辰日

正月 松の内 七々

十日十日 十一日 十一日 十六日 十七日 十八日 十九日
二月 初午

初日 八日 十九日 十七日 十八日 十九日
三月

初日 三日 十一日 十七日 十八日 十九日
四月

初日 八日 十九日 十七日 十八日 十九日
五月

初日 六日 十一日 十七日 十八日 十九日

六月

朔日十八日十七日十八日 十八日

七月

朔日七月十日十三日 休十四日十五日十六日
十七日十八日 十八日

八月

朔日十四日十五日十七日十八日十九日

九月

朔日九月十二日十三日十四日十五日十六日十七日十八日十九日

十月

朔日十八日十七日十八日十九日二十日

十一月

朔日十八日十九日十七日十八日十九日二十日

十二月

朔日八月十三日十五日十七日十八日
十九日二十日二十一日二十二日

寛保三、四年 孟春

毎月二、三

板元



鐐形屋

110X
668
154
16

